

## 桜門ドイツ文学会だより

### [2021年度の主な活動]

2021.03.13 理事会・総会（Zoomによるオンライン形式）

（理事会：午後2時30分～午後4時30分，総会：午後4時30分～午後5時，出席者：理事会12名，総会21名）

#### 【報告】

1. 2020年度活動報告
2. 広報関連の報告
3. 会員の活動報告のHP掲載について
4. その他

#### 【審議】

1. 2020年度会計報告の承認
2. 2021年度担当ブロックと会長・理事長の承認
3. 2021年度理事会の日時と場所について
4. 2021年度第23回研究発表会について
5. 2021年度『リェンコイス』第55号の編集・発刊について
6. その他

2021.06.12 第1回理事会（Zoomによるオンライン形式）

（午後3時30分～午後5時30分，出席者：12名）

#### 【審議】

1. 2020年度理事会・総会議事録の承認
2. 2021年度会長と各ブロック理事の承認：会長 豊田順一，各ブロック理事 真道杉・跡守美音・○岡本奈穂子・山崎明日香・藁科智恵・柳武司（広報委員会委員長）・渡邊徳明・杉田芳樹（庶務委員会委員長）・三浦美紀子・及川晃希の諸氏 [○は理事長]
3. 2021年度第23回研究発表会について
4. 『リェンコイス』第55号の編集・発刊について
5. 2021年度理事会・総会（懇親会）について
6. その他

2021.09.10 第23回研究発表会（Zoomによるオンライン形式）  
（午後2時00分～午後5時30分，発表者：6名，出席者：18名）

【司会・開会の辞】岡本奈穂子

【発表題目】

①日本における『魔の山』受容

——村上春樹『ノルウェイの森』を中心に——

及川 晃希

②「誰もが生き生きとした俳優であるべき」

——ルネッサンス期の演劇教育と俳優についての考察——

山崎明日香

③ auf を伴う不変化詞動詞

時田伊津子

④大林宣彦の映画に見られる不気味さ

——ドイツ語圏の文化・思想との関連を中心に——

渡邊 徳明

⑤コーパスにみる形容詞 scharf の多義

板倉 歌

⑥難民のドイツ語習得の現状と課題

岡本奈穂子

【閉会の辞】森田 悟

2021.12.11 『リュンコイス』第55号第1回編集会議  
（Zoomによるオンライン形式）（午後1時～午後3時30分）

2022.02.19 『リュンコイス』第55号最終編集会議  
（Zoomによるオンライン形式）（午後1時～午後3時15分）

[会員の活躍情報]

第18回日本独文学会・DAAD賞日本語研究書部門

須藤温子：『エリアス・カネッティ——生涯と著作』（月曜社，2019年）

保坂一夫・川尻竜彰・杉田芳樹（共訳）：クリスタ・ヴォルフ『続・一年に一日——わたしの九月二十七日——』（同学社，2021年）

[独検寄付金活動に関するご報告]

皆様からお寄せいただいた寄付金は総額4万円でした。2021年8月10日に、学会名でドイツ語学文学振興会の指定口座に振込手続を行いました。ご協力ありがとうございました。

[ご寄付について]

2021年度に、山崎明日香先生より当会に寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

[訃報]

桜門ドイツ文学会の発展にご尽力いただいた小野健知先生が2020年4月30日に、須藤温子先生が2021年3月19日に、そして、千石喬先生が2021年5月15日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

（文責 岡本奈穂子）